

- 問1 欧州連合（EU）が結成された背景や、その目的について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）
1. アジアやアフリカの植民地を維持するために、ヨーロッパ各国の軍隊を統合して管理することを目的としたため。
 2. ヨーロッパ諸国が経済的な結びつきを強めるだけでなく、共通の外交や安全保障政策を推進し、国際社会での影響力を高めるため。
 3. アメリカとソ連の冷戦構造の中で、西ヨーロッパ諸国が独自の軍事同盟を組み、核兵器の共同開発を行うため。
 4. 世界恐慌への対策として、自国の産業を守るために周辺諸国への関税を大幅に引き上げるブロック経済を構築するため。
- 問2 1940年代後半から始まった、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の対立である「冷戦」について述べた次の文のうち、1980年代末の動向として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 1989年にソ連によるアフガニスタン侵攻が始まり、冷戦が再燃した。
 2. 1989年にベルリンの壁が崩壊し、これを象徴として冷戦は終結に向かった。
 3. 1989年にベルリンの壁が築かれ、これによって冷戦が始まった。
 4. 1989年にベトナム戦争が勃発し、冷戦がさらに激化した。
- 問3 現代の国際社会において、1967年に発足した「欧州共同体（EC）」から1993年の「欧州連合（EU）」への発展や、1992年の「地球サミット」の開催に共通する背景として、最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. アジア・アフリカ諸国の急速な経済成長に対抗するために、欧米諸国が独占的な経済圏を再構築しようとしたこと。
 2. 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。
 3. 国際連盟の失敗を教訓として、すべての加盟国が平等に一票を持つことで、大国の影響力を排除する体制を目指したこと。
 4. 冷戦の終結に伴い、科学観測を目的とした国際極年の活動を政治的な軍事同盟へと格上げする必要が生じたこと。
- 問4 日本の輸送手段の変遷に関する統計において、鉄道による貨物輸送量は1970年頃にピークを迎えた後、減少に転じています。この時期の社会背景と、減少の理由として最も適切な説明はどれか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 1970年代の石油危機により、国内の工業生産が完全に停止し、運ぶべき物資がなくなったため。
 2. 環境保護の観点から、すべての貨物輸送を航空機による輸送に切り替える政策がとられたため。
 3. 高度経済成長を経て、高速道路網の整備が進み、トラックによる自動車輸送への転換が進んだため。
 4. 鉄道の電化が遅れたことにより、蒸気機関車では大量の貨物を運ぶことが不可能になったため。
- 問5 1989年、地中海に位置する島国でアメリカとソ連の首脳が会談を行い、第二次世界大戦後から長く続いた東西の対立に終止符を打つことが宣言されました。この会談の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. バンドン会議
 2. ポツダム会談
 3. ヤルタ会談
 4. マルタ会談
- 問6 大田昌秀知事の在任中に糸満市に建設された「平和の礎」には、それまでの戦没者慰霊碑にはあまり見られなかった大きな特徴があります。その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 米軍基地の返還を求める抗議文が、英語と日本語の二ヶ国語ですべての石碑に刻まれている。
 2. 沖縄県出身の軍人および軍属の氏名のみを、階級順に刻んでいる。
 3. 日本兵だけでなく、アメリカ兵や朝鮮半島・台湾出身者など、敵味方の区別なく全戦没者の氏名を刻んでいる。
 4. 沖縄返還を実現するために尽力した歴代知事や政治家の功績を称える内容が刻まれている。
- 問7 1917年の革命を経て成立した世界初の社会主義国家について、その後の経済体制の変遷を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 政府の指令に基づき生産を行う計画経済を行っていたが、現在は自由な競争を認める市場経済へと移行した。
 2. ポルターと呼ばれる干拓地を活用した農業を中心としていたが、現在は重工業中心の保護貿易を行っている。
 3. 建国当初から資本主義を採用していたが、現在は政府がすべての経済活動を管理する計画経済へと移行した。
 4. イギリスの植民地から独立した後、一貫して私有財産を認めない絶対王政による経済運営が続けている。
- 問8 1989年には東欧諸国で民主化運動が激化し、分断の象徴であったベルリンの壁が崩壊するなど、社会主義体制が大きく揺らぎました。こうした激動の国際情勢の中で開催された「マルタ会談」が世界史において果たした役割について、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。
 2. 第二次世界大戦後のドイツを、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連の4カ国で分割統治することを決定した。
 3. アメリカとソ連が共同でベトナム戦争に介入し、社会主義勢力を抑え込むことを合意した。
 4. 核兵器の完全廃棄を決定し、国際連合の管理下で全ての大量破壊兵器を撤去することを宣言した。
- 問9 1989年、アメリカ合衆国のブッシュ大統領とソビエト連邦のゴルバチョフ書記長が地中海の島で会談を行い、第二次世界大戦後から長く続いていた「冷戦」の終結を宣言しました。この歴史的な会談を何と呼びますか。（2023年 奈良県公立入試 類似）
1. マルタ会談
 2. ヤルタ会談
 3. ポツダム会談
 4. サンフランシスコ講和会議
- 問10 1989年にアメリカとソ連の首脳が会談を行い、世界に発信した宣言の内容として最も適切なものはどれか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 国際連合の設立に向けた基本構想の策定
 2. 発展途上国による反植民地主義と平和共存の主張
 3. 太平洋戦争における日本の無条件降伏の勧告
 4. 第二次世界大戦後から続いた冷戦の終結
- 問11 日本の貿易統計において、1970年代には鉄鋼や自動車などの重化学工業製品が輸出の上位を独占していましたが、2010年代になると自動車と並んで半導体などの電子部品が主要な輸出項目として定着しました。このような輸出構造の変化から読み取れる、近年の日本が力を入れている産業分野として適切なものはどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
1. 地場産業
 2. 第一次産業
 3. 伝統的工芸品産業
 4. 先端技術産業
- 問12 1980年代後半、日本が資本主義諸国の中で国民総生産（GNP）第2位の経済力を維持していた時期の国際情勢について、冷戦の終結に至る背景や経緯を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）
1. 2000年代に発生した同時多発テロをきっかけに、アメリカとソ連が共通の敵に立ち向かうために軍事同盟を結んだことで冷戦が終結した。
 2. ベルリンの壁が建設されたことによって東側諸国の結束が強まり、これに脅威を感じたアメリカが平和共存を提案して冷戦が終結した。
 3. ソ連のゴルバチョフ書記長が国内の改革を進める中でアメリカとの対話を重視し、1989年の会談で東西対立の終わりを宣言した。
 4. 東側諸国が日本の経済発展を模範として社会主義体制をさらに強化した結果、アメリカが譲歩を余儀なくされて冷戦が終わった。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ヨーロッパ諸国が経済的な結びつきを強めるだけでなく、共通の外交や安全保障政策を推進し、国際社会での影響力を高めるため。	欧州連合（EU）は、単なる経済的な市場統合にとどまらず、ヨーロッパ全体を一つの大きな単位としてまとめることを目指しています。共通通貨「ユーロ」の導入や、国境を越えた人の移動の自由化を通じて経済を活性化させると同時に、政治的にも協力することで、国際社会においてアメリカや中国などの大国に対抗できる発言力を確保するという目的があります。
問2	答え 2 1989年にベルリンの壁が崩壊し、これを象徴として冷戦は終結に向かった。	第二次世界大戦後、世界はアメリカとソ連をそれぞれリーダーとする二つの陣営に分かれて対立していましたが、1980年代末になると東欧諸国で民主化運動が高まりました。1989年のベルリンの壁崩壊は、分断の象徴が失われたことを意味し、同年に行われたマルタ会談での冷戦終結宣言へとつながる決定的な出来事となりました。ベトナム戦争は1960年代から70年代にかけての出来事であり、冷戦の始まりは1940年代後半のことです。
問3	答え 2 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。	第二次世界大戦後のヨーロッパでは、経済・政治的な統合によって紛争を抑止し、共通の利益を追求するために欧州共同体（EC）が作られ、後の欧州連合（EU）へと深化しました。一方、地球サミットは「持続可能な開発」をスローガンに、温暖化などの地球規模の環境問題に対して国際的な枠組みが必要であるという認識から開催されました。これらは、一国では対処できない課題に国際協力で挑む姿勢を示しています。
問4	答え 3 高度経済成長を経て、高速道路網の整備が進み、トラックによる自動車輸送への転換が進んだため。	1970年頃は高度経済成長の終盤にあたり、産業構造の変化とともに交通網の整備が進みました。それまでは鉄道が貨物輸送の主役でしたが、ドア・ツー・ドアの配送が可能なトラック輸送（自動車輸送）や、大量輸送に適した船舶輸送にその座を譲ることとなり、統計上の数値も減少に転じました。
問5	答え 4 マルタ会談	1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ書記長が進めた改革（ペレストロイカ）や外交方針の転換により、アメリカとの関係が急速に改善しました。1989年にアメリカのブッシュ（父）大統領とゴルバチョフ書記長が地中海のマルタ島で会ったことで、長年続いた「冷戦の終結」が世界に向けて正式に宣言されました。バンドン会議はアジア・アフリカ会議、ヤルタ会談やポツダム会談は第二次世界大戦の戦後処理に関する会議です。
問6	答え 3 日本兵だけでなく、アメリカ兵や朝鮮半島・台湾出身者など、敵味方の区別なく全戦没者の氏名を刻んでいる。	「平和の礎」は、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、国籍や立場に関わらず沖縄戦で亡くなったすべての人々を追悼しています。このような「刻銘」による慰霊のあり方は、国内外から高い評価を受けています。
問7	答え 1 政府の指令に基づき生産を行う計画経済を行っていたが、現在は自由な競争を認める市場経済へと移行した。	ロシアは1917年のロシア革命により、土地や工場などの生産手段を公有とする社会主義国家となりました。社会主義体制下では政府が生産量や価格を決定する「計画経済」が行われていましたが、経済の停滞などを背景に、現在は個人の利益追求や自由な取引を認める「市場経済」への移行が進んでいます。
問8	答え 1 アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。	1989年は東欧の社会主義諸国で民主化が進み、11月にはベルリンの壁が崩壊しました。この直後の12月に開催されたマルタ会談において、米ソ首脳が冷戦の終わりを正式に認めたことで、1940年代後半から続いてきた「冷戦」という特殊な国際秩序が消滅しました。選択肢にあるベトナム戦争は1970年代に終結しており、ドイツの分割統治は1945年のヤルタ会談やポツダム会談に関連する出来事です。
問9	答え 1 マルタ会談	1980年代後半、ソビエト連邦のゴルバチョフ書記長は「ペレストロイカ（改革）」を進めて西側諸国との関係改善を図りました。1989年12月に地中海のマルタ島で行われたこの会談により、資本主義陣営と社会主義陣営が厳しく対立した冷戦時代の終わりが世界に示されました。
問10	答え 4 第二次世界大戦後から続いた冷戦の終結	アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長によるマルタ会談では、第二次世界大戦直後から約40年以上にわたって続いていた資本主義陣営（西側）と社会主義陣営（東側）の対立、いわゆる「冷戦」の終結が正式に宣言されました。この出来事は、その後のソ連解体や東欧の民主化を象徴する現代史の大きな転換点となりました。
問11	答え 4 先端技術産業	21世紀に入ると、グローバル化や情報化が進む中で、日本は従来の重厚長大な製品だけでなく、高度な知識や技術が必要とする半導体や電子機器といった先端技術産業の製品を世界に供給するようになりました。これは、単純な加工貿易から、より技術集約的な産業構造へと変化したことを示しています。
問12	答え 3 ソ連のゴルバチョフ書記長が国内の改革を進める中でアメリカとの対話を重視し、1989年の会談で東西対立の終わりを宣言した。	ソ連のゴルバチョフ書記長は、停滞していた社会主義経済を立て直すために改革を行い、外交面でもアメリカとの緊張緩和を積極的に進めました。1989年のマルタ会談において、アメリカのブッシュ大統領とともに冷戦の終結を公式に宣言したことで、第二次世界大戦後から世界を二分していた「西側諸国」と「東側諸国」の激しい対立が歴史的な区切りを迎えました。なお、ベルリンの壁の建設は1961年の出来事であり、冷戦を象徴する対立の激化を示すものです。